



あなたの応援が、
復興への
一歩になる。

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト

ニュースレター (2013.9.26 第5号)

活動報告

第4期活動を終了し、第5期活動を開始しました

第4期活動について

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、7月31日をもって第4期活動の寄附募集期間を終了しました。全国の338法人・企業と38名の個人(2013年7月31日時点)にご参加いただき、頂戴した総額2億3,447万700円のご厚志を被災地にお届けしました。具体的には、募集要項に従い、岩手、宮城、福島の被災した県立専門高校にそれぞれ5,966万円相当、8,268万円相当、4,64万円相当の実習機材を贈呈¹した他、岩手大学に2,048万円、東北大学に500万円、宮城大学に約2,000万円をお届けしました。また、宮城県教育委員会が開催する産業教育復興フェアに600万円の寄附を実施しました。

岩手県立高田高校では、現在、体育館・校舎の再建工事が行われています。横田昭彦校長は「現在の3年生は震災直後に入学したため、学び舎と呼べる母校を持たないまま卒業することになる。体育館が完成すれば、卒業式を母校で開催してあげられる。皆様の支援を支えに、教職員・生徒全員で頑張っていく」とお話をされています。

¹ 各専門高校が要望する機材の納期の都合により、宮城県の支援額が大きくなっています。通算の支援額は各県ほぼ同等となっています。



左より角館覚 高田高校副校長、横田昭彦 同校長、岡野貞彦 IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局常務理事 (2013年9月12日事務局撮影)

また、福島県立双葉翔陽高校は、原発事故の影響により福島県いわき市内のいわき明星大構内に避難しています。各学年定員80名ですが、2013年度新入生は16名、全員が仮設住宅などでの生活を余儀なくされています。渡辺譲治校長は、「多くの生徒が心細い思いをしている中、皆様より支援いただいたことに大変勇気づけられている。頂戴した機材は大事に使わせていただき、生徒の教育に努める」と感謝の言葉を述べられました。

被災地の専門高校は依然厳しい状況にあります。現在、第5期活動を実施しており、引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします(詳細な内容については、[公式HP](#)をご参照ください)。

関連事業の実施

昨年に引き続き、出張授業を実施します

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトでは、被災地の専門高校の生徒たちを物心両面で支援するため、実習機材の提供とともに、昨年度より企業経営者による出張授業を実施しており、今年度は、岩手県・宮城県の専門高校 11 校での開催を予定しています。

9/23 釜石商工高校

9月23日に岩手県立釜石商工高校の1・2年生250名を対象に、北城恪太郎 日本アイ・ビー・エム株式会社相談役（経済同友会・前副代表幹事）が出張授業を行いました。

『これからの社会で求められる人材』と題した授業では、北城相談役より「働くことの意味は、社会に貢献し、人々の役に立つということ」「社会に出れば、与えられた仕事をするだけでなく、自ら考え、課題を発見し解決する力が必要となる」「自分で決めたら自分の責任で人生を歩むことが大事」「“明るく” “楽しく” “前向きに” 頑張ってほしい」との話がありました。

授業後、生徒たちからは、「今回の授業を受けて、働くのは楽しそうだなと思えた。『自分にとって興味があり、達成感を得られる分野の仕事に就くことは人生を豊かにする』という言葉が一番印象に残った。」「これからは失敗を恐れずに努力してみようと思う」「高校生活での自由な時間をどのように使っていくかで、これからの人生が変わっていくのだと思いま

した。いろいろなことにチャレンジして、自分を高めていきたい」といった感想が多数寄せられました。

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトでは、今後も被災地の専門高校の生徒たちを物心両面で支援するため、各校の希望に基づいて出張授業を実施する予定です。授業の様子は随時、ニュースレターにてご報告いたします。

被災地視察について

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトでは、「被災地視察」を実施します。このたび、11月1日(金)～2日(土)にかけ、宮城県の被災地視察を実施いたします。宮城県内の支援先である宮城大学南三陸復興ステーションの視察、宮城県水産高校の訪問の他、被災三県の専門高校の生徒たちによるイベント「[産業教育復興フェア](#)」への参加を予定しています多数ご参加くださいますようお願いいたします。

専門高校等の生徒による学習成果発表の表彰
産業教育復興フェア
(第24回全国産業教育フェア宮城大会 プレ大会)
助けよう・広げよう・伝えよう おやばから
開催日 平成25年11月2日(土) 10時開会
会場 まなウエルみやぎ(名取市美園町)
『産業教育復興フェア』開催にあたって
宮城大会は2年連続で開催され、会場から心温まる励ましや応援をいただいた。参加者の数は、少しずつ増えています。
宮城県教育委員会では、立派な卒業生を育て、平成25年度に全国産業教育フェア宮城大会を開催し、専門高校等77校の生徒による活躍の学習成果の発表や日本大学からの定員外見学者の参加を促すことにより、会場からいただいた支援への感謝を表すため、準備を進めています。
平成25年11月、プレ大会として『産業教育復興フェア』を開催し、多くの物事に被災地の若者の成長の成果を確かめています。

主催 宮城県教育委員会 名取市教育委員会 名取市産業教育委員会
協賛 IPPO IPPO NIPPON プロジェクト (公益財団法人 産業教育基金) (株) やまうちユニバーサル